

FM/AM カセットカーステレオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XR-C3000



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

本機だけでできる操作

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
放送局を自動でプリセットする	8

▶ ここだけ読んでも使えます

テープを聞く	9
ラジオを聞く	12

▶ その他の操作

音質や音のバランスを調節する	14
特定の放送局をプリセットする	15
音の設定を変える	16

付録

使用上のご注意	20
各部のなまえ	22
故障かな?	23
保証書とアフターサービス	26
主な仕様	27
索引	裏表紙

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

CD/MDを聞く	17
聞きたい曲・ディスクを探す	18
繰り返し聞く(リピート).....	19
曲順を変えて聞く(シャッフル).....	19

準備

使えます
ここだけ読んでも

その他の操作

CD/MD

付録



火災



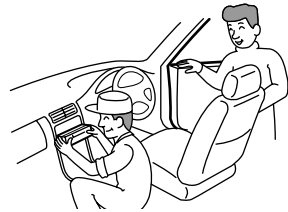
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

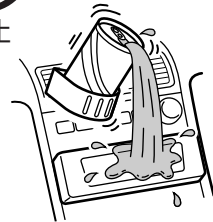


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

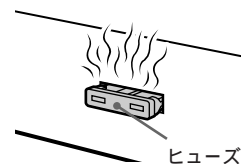


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

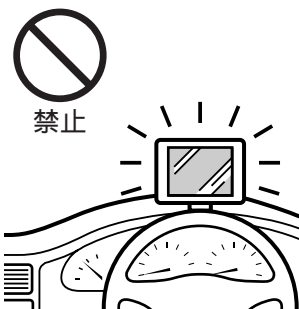


禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

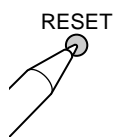
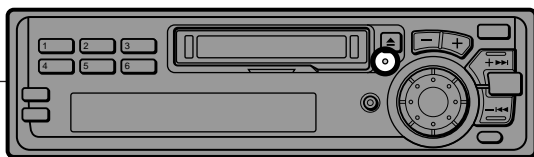
本機では、カセットテープとラジオを聞くことができます。別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。組み合わせる機器の例として以下のものがあります。

- CD/MDチェンジャー
- スペアナ付CDプレーヤー、イコライザー付CD/MDプレーヤー
- ロータリーコマンダー

お手元で簡単に操作することができます。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りの機器を接続した場合の操作方法についても説明しています(17ページ ~)。

まず、本機をリセットする



RESET

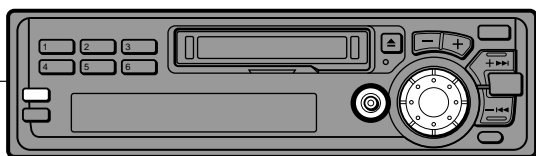
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

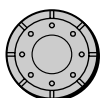
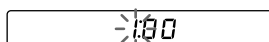
時計を合わせる

準備



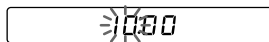
1 車のキーをONにする。

DSPL **2** DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。



① ダイヤルを回して、「時」を合わせる。

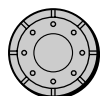
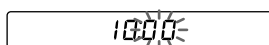
(時計は12時間表示)



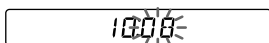
SEL



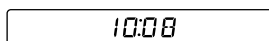
② 「時を」合わせたら、SELボタンを押す。



③ ダイヤルを回して、「分」を合わせる。



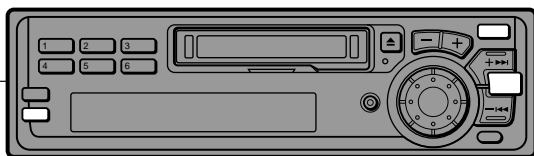
DSPL **3** DSPLボタンを押す。



ご注意

POWER SELECTスイッチを②にしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、SOURCEボタンを押してラジオをつけます。

放送局を自動でプリセットする



受信できる局を数字の1～6ボタンに自動的に登録（プリセット）します。
FMⅠまたはFMⅡ、AMⅠ、AMⅡのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。
テレビ放送（1～3チャンネル）は、FM 90.0MHzの次にあります。

- 1** SOURCEボタンを押して、ラジオに切り換える。
- 2** MODEボタンを押して、プリセットしたい放送局のバンドに切り換える。
MODEボタンを押すたびに次のように換わります。
FMⅠ→FMⅡ→AMⅠ→AMⅡ
- 3** SENS/BTMボタンを2秒以上押す。
選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンにプリセットされます。

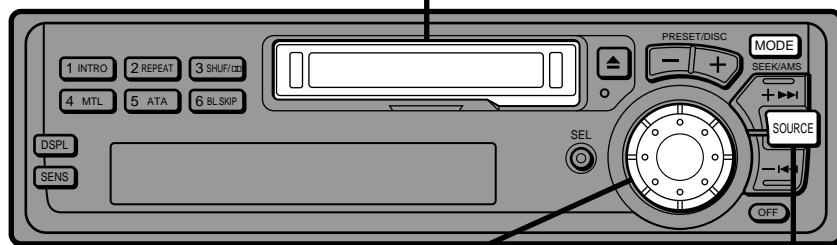
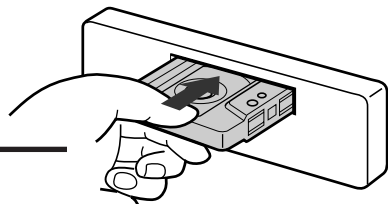
ご注意

- ・放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、プリセットされないことがあります。
- ・表示窓にプリセット番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局がプリセットされます。

テープを聞く

ここだけ読んでも
使えます

テープを入れると再生が始まります



音量を調節する

テープが入っているときに
押して「TAPE」を表示す
ると再生が始まる

ソース
(SOURCEボタン)



再生中にMODEボタンを押すと、
テープの面が切り換わります。



上面を再生



下面を再生

次のページへつづく

テープを聞く(つづき)

テープを取り出す

イジェクト
(▲ボタン)

曲の頭出しをする (SEEK/AMSボタン)

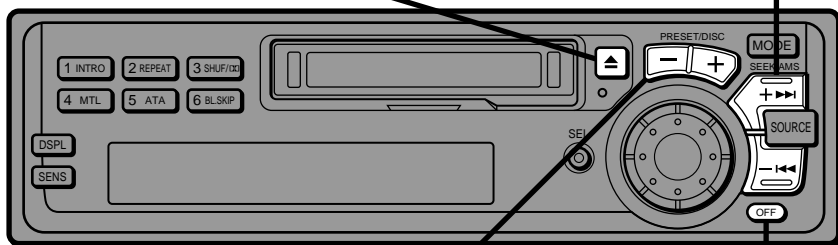
シーク/エーエムエス



次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します(最大9曲まで)。



巻戻し・早送りをする

プリセット/ディスク
(PRESET/DISCボタン)



巻戻し 早送り

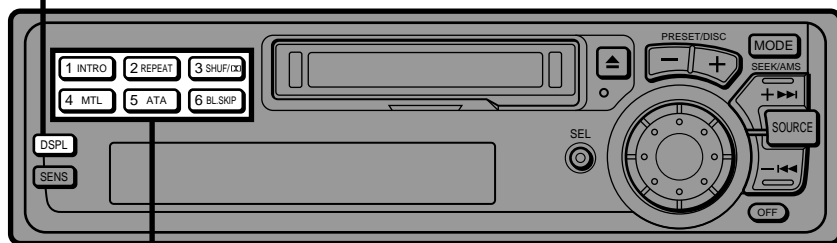
巻き戻し・早送りの途中で再生を始める
には、MODEボタンを押します。

止める/電源を切る

オフ
(OFFボタン)

表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



数字ボタンを押すと

- 1 INTRO** 「INTRO」と表示され、各曲の頭を10秒ずつ再生する (イントロINTROボタン)
聞きたい曲がかかったら、もう1度押して再生に戻します。
- 2 REPEAT** 「REP」と表示され、今の曲を繰り返し再生する (リピートREPEATボタン)
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。
- 3 SHUF/□□** ドルビードルビー* NRで録音したテープを再生する (□□ボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 4 MTL** 「MTL」と表示され、ハイポジションまたはメタルテープを再生する。 (メタルMTLボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 5 ATA** 「ATA」と表示され、早巻き中はラジオに切り換わる (エーディーエーATAボタン)
もう1度押すと、解除します。
- 6 BL.SKIP** 「BL.SKIP」と表示され、8秒以上の空白を早送りする (ブランク・スキップBL.SKIPボタン)
もう1度押すと、解除します。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY 及びダブルD記号□□はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

ラジオを聞く

2 聞きたいバンドに切り換える

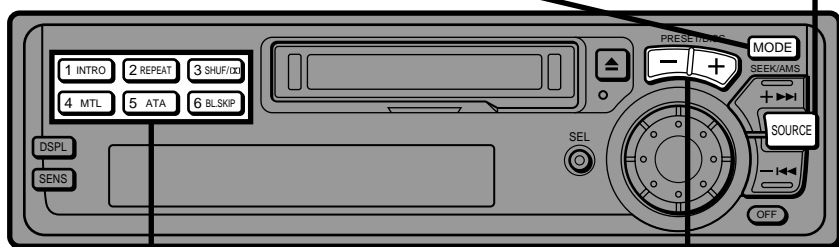


押すたびにFM I→FM II
→AM I→AM IIと切り
換わります。

1 ラジオに切り換える



繰り返し押して
切り換えます。



3 聞きたい放送局のボタンを押す(放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット(登録)のしかた
については、8ページ参照。

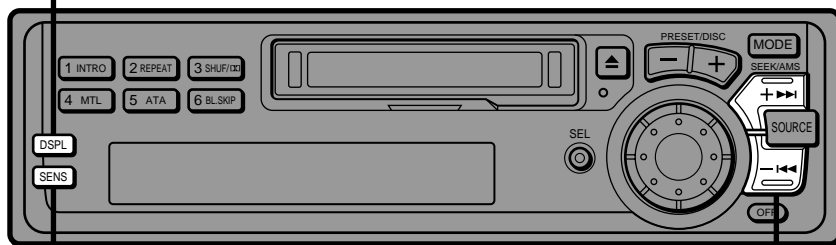
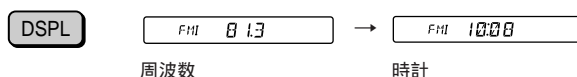
プリセットした局を順に受信する

プリセット/ディスク
(PRESET/DISCボタン)



表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



ステレオ放送が聞きにくいとき

センシティビティピーチーエム
(SENS/BTMボタン)

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SENS/BTMボタンを繰り返し押して「MONO」表示に切り換えます。音はモノラルになりますが、聞きやすくなります。

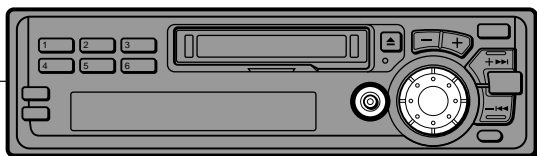
旅先などで、プリセットした局が受信できないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを軽く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを繰り返し押します。



- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SENS/BTMボタンを押して「LCL」表示に切り換えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

音質や音のバランスを調節する



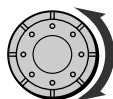
1 SELボタンを押して調節したい項目に切り換える。

VOL (音量) → BAS (低音) → TRE (高音)
↑ ↓
FAD (前後のスピーカ・バランス) ← BAL (左右のスピーカ・バランス)



2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。

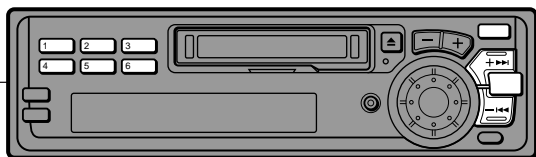


BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	右が下がる	後ろが下がる
↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓
強まる	強まる	左が下がる	前が下がる

ご注意

イコライザーを接続した場合は、本機のFADは中央または前を下げぎみにしてください。FADの調節はイコライザーユニット側で操作してください。

特定の放送局をプリセットする



放送局を自動プリセット(6ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでにプリセットしてある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM 1,620またはAM 1,629kHz)をプリセットしておく便利です。

その他の操作



1 SOURCEボタンを押して、ラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して、プリセットしたい放送局のバンドに切り換える。



3 SEEK/AMSボタンを押して、プリセットする放送局を受信する。

FMI 81.3



4 プリセットしたい数字ボタンを表示が変わるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局がプリセットされます。

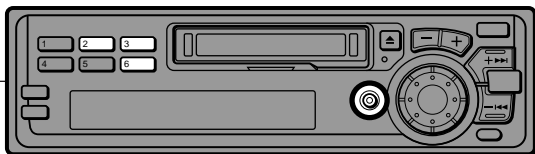
FMI 81.3 1

ご注意

すでにプリセットしてある数字ボタンに同じバンドの他の放送局をプリセットすると、前の局は消えてしまいます。

PRESET/DISCボタンを短く押すと、数字ボタンにプリセットした放送局を順に受信することができます。

音の設定を変える



小音量でも低音・高音を聞きやすくする (ラウドネス機能)

SEL 音量を下げても低音と高音が弱まらず聞きやすい音に補正されます。



SELボタンを押しながら数字ボタン2を押す。

2 REPEAT

解除するには、もう1度押します。

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する

SEL SELボタンを押しながら数字ボタン6を押す。



押すたびに切り換わります。

6 BL.SKIP

ご注意

「ピッ」音は、別売りのアンプを接続した場合には鳴りません。

スレーブユニットの表示窓を暗くする

別売りのスレーブユニット(CSX-300、CSX-500EQ、MDX-700EQ)を接続しているとき、スレーブユニットの表示窓を暗くすることができます。

SEL



SELボタンを押しながら数字ボタン3を押す。

3 SHUF/DO

押すたびに切り換わります。

CD/MD

別売りのCDプレーヤーやCDチェンジャー、MDチェンジャーをつないで、
CDやMD(ミニディスク)を再生できます。

CD/MDを聞く



SOURCEボタンを押し「CD」を表示する。

CD/MDの再生が始まります。チェンジャーをつないでいる場合は、
全てのディスクを順に再生します。

ご注意

MDチェンジャー再生中も「CD」と表示されます。

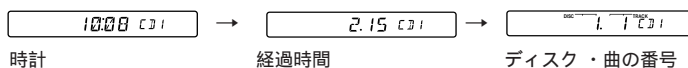
複数のチェンジャーやプレーヤーを切り換えるには

再生中にMODEボタンを押して表示を切り換えます。



表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



ご注意

MDに記録された曲名は表示しません。

その他の操作

CD/MD

聞きたい曲・ディスクを探す

探しかた

押すボタン

曲の頭出しをする

再生中にSEEK/AMSボタン



押した回数だけ前または先の曲の頭出しをします。

曲の聞きたいところ
を探す

再生中にSEEK/AMSボタン



ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離します。

各曲の頭を10秒ずつ
再生しながら探す

再生中にINTROボタン



「INTRO」と表示されます。聞きたい曲がかかったら、もう1度押して再生に戻します。

ディスクの頭出しを
する

再生中にPRESET/DISCボタン



押した回数だけ前または先のディスクの頭出しをします。

繰り返し聞く

2 REPEAT

再生中にREPEATボタンを短く押して表示を切り換え、
繰り返しかたを選ぶ。

REP 1 再生中の曲を繰り返す。

REP 2 再生中のディスクを繰り返す。

REP 3 チェンジャー内の全ディスクを繰り返す。

解除 ふつうの再生に戻る。

曲順を変えて聞く

3 SHUF/□□

再生中にSHUFボタンを短く押して表示を切り換え、
曲順の変えかたを選ぶ。

SHUF 1 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF 2 再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF 3 チェンジャーを2台以上つないでいる場合は、全チェンジャーの全
ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

解除 ふつうの再生に戻る。

使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

温度が極端に高いまたは低いところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、表示ももとに戻ります。

カセットデッキのヘッドのお手入れについて

カセットテープを長い間使用すると、ヘッドが汚れて、音質が悪くない、音が出ないというようなことがおこります。1か月に1度ぐらいの割合で、別売りのソニークリーニングカセットCHK-1またはC-1KNを使ってヘッドをクリーニングしてください。また、クリーニングカセットを使用しても症状が良くならない場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

良い音で聞くために

カップホルダーにジュースなどを置くときは、飛び散りにご注意ください。本機やカセットテープ面に糖分が付着すると、カセットデッキのヘッドが汚れ、音質が劣化したり、音が出なくなることがあります。ヘッドに付着した糖分は、クリーニングカセットでクリーニングすることができません。



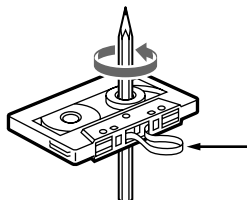
禁止



カセットについて

- ・テープ面に指を触れないでください。テープ面が汚れたカセットを使うと、音質の劣化の原因となります。
- ・古いカセットや粗悪なカセットを使わないでください。音質の劣化や故障の原因となることがあります。
- ・次の場所には絶対に置かないでください。
 - 直射日光が当たるところなど高温の場所(特に夏季)
 - 湿度の高いところ

- ・テープにたるみがあると、テープが機械に巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



- ・90分を超えるテープのご使用はおすすめできません。90分を超えるテープは、非常に薄くのびやすいので、車の振動や高温によってテープが機械に巻き込まれる場合があります。



- ・変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、新しいラベルに貼り直してください。



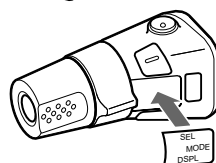
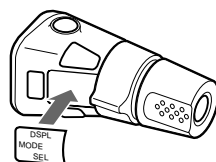
- ・本機はパワーアンプ内蔵のため、長時間使用するとカセットが熱くなりますが、カセットの機能には影響ありません。

ロータリーコマンドーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンドー (RM-X2S) を接続することができます。

ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが4枚付属されています。接続するマスターユニットの機能および、ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

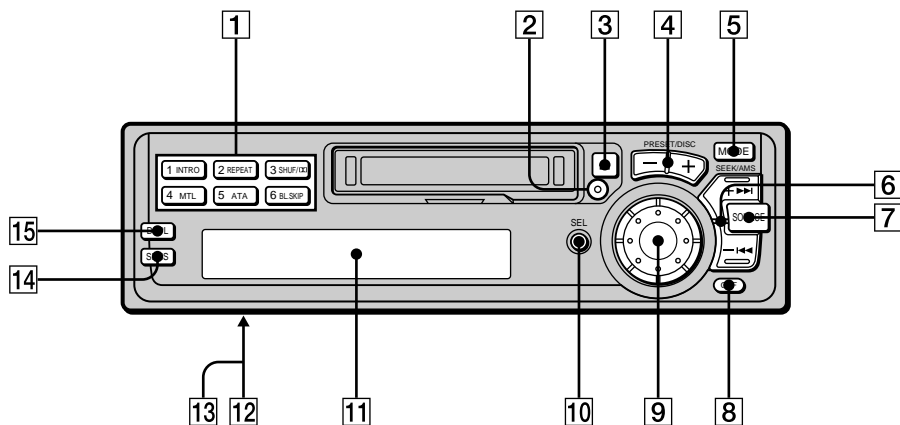
本機には、「DSPL」のシールをお使いください。



各部のなまえ

本体

内のページに詳しい説明があります。



1 数字ボタン1～6

テープ 11

ラジオ 12 15

CD/MD 18 19

2 リセットボタン 6

3 ▲(テープ取り出し)ボタン 10

プリセット/ディスク

4 PRESET/DISC(早送り・巻戻し/ラジオ選局/ディスクの頭出し)ボタン

テープ 10

ラジオ 12

CD/MD 18

5 MODE(テープ再生面切り換え・バンド切り換え)ボタン

モード

テープ 9

ラジオ 8 12

6 SEEK/AMS(ラジオ選局/曲の頭出し)ボタン

テープ 10

ラジオ 13 15

CD/MD 18

7 SOURCEボタン 9 12 15 17

ソース

8 OFF(電源切り)ボタン

オフ

9 ダイヤル 7 9 14

ダイヤル

10 SEL(調節/選択)ボタン 14 16

セレクト

11 表示窓

パワーセレクト

12 POWER SELECTスイッチ

イコライザー

13 EQ切り換えスイッチ

センシティビティ/ピーチーエム

14 SENS/BTM(感度切り換え/ベスト

チューニングメモリ)ボタン 8

ディスプレイ

15 DSPL(表示切り換え)ボタン 7 11 13 17

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・音量を上げてください。 ・スピーカー接続時：FAD（フェーダー）の設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 ・イコライザー接続時：本機のFADをリア側にしてください（前を下げる）。
	電源を切ったときに時計が表示されない	本機底面の POWER SELECT スイッチが B 側に設定されているときは、時計は表示されません。
	ラウドネス効果がかからない	ラウドネス効果は音量が低いときだけかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ・リセットボタンを押した。 ・動作電源コードまたはバッテリーをはずした。 ・電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ピッ」という音が出ない設定になっている（16ページ）。 ・内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。
カセットプレイヤー	カセットが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにカセットが入っている。▲ボタンを押して取り出してください。 ・カセットを正しい向きに入れてください。
	テープ再生中にアンテナが上がる	「ATA」と表示されている場合は、ATA機能が働き、テープ早送り、巻き戻し中に自動的にラジオを受信するためアンテナが上がります。
	雑音が多い	雑音が多いテープ、あるいは録音レベルの低いテープを再生している。故障ではありません。
	音がこもる	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドが汚れている。別売りのソニークリーニングカセット（CHK-1またはC-1KN）を使ってクリーニングしてください。 ・ドルビーNR録音されていないテープをドルビーNRで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNRを切ってください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
カセットプレーヤー	頭出しができない	<ul style="list-style-type: none"> ・曲間のあきが短すぎる。録音テープを作るとき、曲間を4秒以上あけてください。 ・曲間に雑音が多く、曲間を検出できない。
	曲の途中で再生が始まる	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の途中に無音部分や低音だけの部分が1秒以上あり、曲間として検出された。 ・再生している面と反対の面に大きな音が録音されている。 ・無音部分の一部に雑音が多い。
	曲が収録されていない部分で再生が始まる	ドルビーNR録音されたテープをドルビーNR OFFで再生している。数字ボタン3を押してドルビーNR ONに切り換えてください。
ラジオ	受信できない、雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・カーアンテナとの接続を確認してください。 ・オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。 ・周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。SENS/BTMボタンを押して表示を消してください。 ・電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押して周波数を合わせてください。
CD/MD	音がとぶ、音が途切れる、音が割れる	<ul style="list-style-type: none"> ・CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクが傷ついている。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-01	チェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
E-02	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
E-99	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

カセットプレーヤー部

トラック方式	4トラック2チャンネル (ステレオ)
ワウフラッター	0.08%(WRMS)以下
周波数特性	30～20,000Hz
再生SN比(JIS A)	

カセット	ドルビー B NR	ドルビー NR OFF
TYPE I	64dB	58dB
TYPE II、III、IV	67dB	61dB

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz(テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	11dBf
周波数特性	30～15,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	15dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 70dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)
キャプチャレシオ	2dB

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

音声出力端子	スピーカー端子(ギボシ型)
適インピーダンス	4～8
最大出力	35W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低温: ±8dB(100Hz) 高温: ±8dB(10Hz)
出力端子	アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バスオーディオ端子 バスコントロール端子 ライン出力端子×3
その他	約78×50×172mm (幅/高さ/奥行き)
本体寸法	約78×50×155mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	
質量	約1.2kg
付属品	電源コード(1) アースコード(1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	ロータリーコマンダー RM-X2S CDチェンジャー CDX-51(10枚) CDX-T62(6枚) MDチェンジャー MDX-60 コンパクトディスクプレーヤー CSX-300、CSX-500EQ グラフィックイコライザー付き MDプレーヤー MDX-700EQ ソースセクター XA-C30 バスケーブル (RCAピンコード付属) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) クリーニングカセット CHK-1、C-1KN

付録

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ、か行

イントロ 11、18

音質

高音 14、16

LOUDNESS 16

VOLUME 9、14

さ行

CD/MD 17

SHUFFLE 19

SPEAKER BALANCE
14

た、な行

TAPE 9

ATA 11

STEREO, MONOラル 13

DOLBY 11

BLANK SKIP 11

電源 10

時計 7

は、ま、や行

BALANCE 14

表示窓

CD/MD 17

TAPE 11

RADIO 13

FADER 14、23

プリセット

RADIO 8、15

BEST TUNING MEMORY
8

ボタンの音 16

ら、わ行

LOUDNESS 16

RADIO 12

自動選局 8、13

プリセット 8、12、15

リセット 6

リピート 11、19

リモコン

ロータリーコマンダー 21

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan